

バイオビジネス経営学特論 I (2単位)

担当者氏名 渋谷往男

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本授業のねらいは、わが国の農業の担い手が減少する中で、新たな担い手として注目されている農企業、特に企業の農業参入を取り上げて、その背景、現状、将来展望について修得する。履修後は企業の農業参入についての研究面の基盤的知識が修得できていることを目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>企業の農業参入</u>	経営戦略	担い手	農地法
バリューチェーン	農企業		

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	・授業全体のガイダンス	◎受講にあたっては事前に配付する資料を事前に読み込んでおくこと。予習時間は2時間程度と想定している。 ◎講義の場でプリントを配布し、キーワードを参考に復習をすること。約1時間と想定している。
2	経営戦略論概論 (2週)	・一般経営学の経営戦略論の概要解説	
4	企業参入関連の法制度	・農地法等の企業の農業参入を規定する法律の解説	
5	企業の農業参入の類型	・企業の農業参入の類型とその特徴の解説	
6	農業参入の成功要因	・成功している参入企業の成功ポイントの解説	
7	バリューチェーン(VC)	・ポーターのバリューチェーンモデルの解説	
8	農企業 VC	・農企業バリューチェーンモデルの解説	
9	ケーススタディ (2週)	・実際の参入企業の VC モデルの理解	
11	参入企業の業種特徴	・建設業、食品産業などの特徴の解説	
12	参入企業の撤退	・撤退の実態とその後の農地の状況の把握	
13	企業参入の懸念点検証	・制度解禁時の反対意見と現状からの検証	
14	農業参入の展望	・今後の企業の農業参入の展望についての議論	
15	総括	・全体の復習とレポート作成	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

「戦略的農業経営 衰退脱却へのビジネスモデル改革」/渋谷往男/日本経済新聞社/2009

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業態度・議論への参加状況 50%、期末レポート 50%

◆オフィスアワー

毎週月曜日の午後、研究室で質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

授業中に意見を聞くアクティブラーニングを取り入れるので、積極的な姿勢が求められる。